

埋蔵文化財保護のための 現地調査を実施しました

土木工事を行う前は…その土地に埋蔵文化財があるかどうかを調査します

※埋蔵文化財とは…土の中に埋まっている文化財(主に遺跡と言われている場所)のこと

現在、北海道には約1万2千カ所の遺跡が確認されています。しかし、北海道は面積が広大なため、すべての土地における埋蔵文化財包蔵地の有無の確認ができていません。このため、工事を行う前に北海道教育委員会の埋蔵文化財専門の職員が現地調査等を行い、埋蔵文化財の有無について確認します。

今回は5月の下旬に蘭越町の豊国地区、京極町の京極地区、共和町の岩崎地区の現地調査を行いました。



埋蔵文化財専門の職員が、実際に工事を予定している場所を見て、埋蔵文化財の有無についてチェックします。



⇒ 現地調査の結果、埋蔵文化財は確認されませんでした。

今年度から、豊国地区、京極地区、岩崎地区の事業を着手します。



北海道の埋蔵文化財に関する詳細は、以下のホームページをご覧ください。

○北海道教育委員会 文化財・博物館課 (<http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/maizou.htm>)

○(公財)北海道埋蔵文化財センター (<http://www.domaibun.or.jp/publics/index/1>)

